

高齢者各種予防接種はお済ですか？

インフルエンザワクチン 肺炎球菌ワクチン

インフルエンザワクチン

インフルエンザは感染力が非常に強く、高熱や関節痛などの全身に症状が出るのが特徴です。また、気管支炎や肺炎を併発し重症化することがあります。

一人ひとりが予防に努め、感染を防ぐとともに、感染した場合には周囲の人につつさないよう注意しましょう。

☆このように予防するの？

①咳エチケットの実施

- ・咳やくしゃみが出たら他の人につつさないためにマスクの着用を徹底する。
- ・鼻汁や痰などを含んだティッシュは、すぐにふた付きのゴミ箱に捨てる。

②手洗いがいの徹底

- ・外出先から帰宅した際は、手洗いがいをする。

③流行した際の行動は？

- ・不用意な外出はできる限り避ける。

- ・外出時には必ずマスクを着用する。

- ・栄養バランスの摂れた食事や十分な睡眠をとる。

- ・室内環境（温度や湿度）を調整する。

☆予防接種費用の助成制度のご利用を

■対象者

接種日現在65歳以上の方（接種の際には送付した予診票を必ずお持ちください。）

また、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に高度な障害がある方も対象となりますので、希望の方は、身体障害者手帳を持参し保健課にお申し出ください。

■接種費用

医療機関により費用が異なりますが、2,500円までは市が負担します。

※2,500円を超える差額は、医療機関窓口にて自己負担となります。

負担となります。

ただし、実施期間及び指定医療機関以外で接種の場合は全額自己負担となりますのでご注意ください。

■実施期間

1月31日（水）まで

医療機関等詳細については広報10月号P7をご参照ください。

肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ唾液などを通じて飛沫感染します。早期に予防接種を実施し、肺炎の発症及び重症化予防に努めましょう。

☆予防接種費用の助成制度のご利用を

■対象者

平成30年3月31日の時点で、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方が

定期接種の対象となります。（接種の際には送付した予診票を必ずお持ちください。）

また、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に高度な障害がある方も対象となりますので希望の方は、身体障害者手帳を持参し保健課にお申し出ください。

※任意接種です。肺炎球菌ワクチンの接種を受けた方は対象外となります。

接種費用

1/2負担（上限4,000円で100円未満切捨て）

ただし、実施期間及び指定医療機関以外での接種の場合は全額自己負担となりますのでご注意ください。

実施期間

3月31日（土）まで

医療機関等の詳細についてはお問い合わせください。

※66歳以上の方で本年度接種対象外の方にも、接種費用の一部助成を継続して行っております。接種を希望される方は事前に申請が必要です。必ず接種する前にお問い合わせてください。

申し込み・問い合わせ

保健課 健康増進担当

023-4310

日本脳炎の予防接種のお知らせ

日本脳炎の予防接種は接種後に重い病気になった事例があつたことをきっかけに、平成17年度から21年度まで、積極的な勧奨を差し控えておりました。

このため、平成7年度から18年度に生まれた方は予防接種を受ける機会を逃していることがあります。接種を希望される方は、母子健康手帳等をご確認いただき、保健課へお問い合わせください。

今年度18歳となる方（平成11年度生まれの方）につきましては、第2期接種のご案内を5月中に送付していますので、ご確認ください。

※公費接種期間や接種間隔等詳細については、保健課へお問い合わせください。

なお、接種の際には事前に医療機関にご予約をお願いします。

■問い合わせ

保健課 健康増進担当

023-4310